

新潟県学校事務研究協議会第37回研究大会 アンケート集計

新潟県学校事務研究協議会 総務部大会チーム

アンケート回答数 295 一般参加者数 406 回収率 72%

Q1 : 特別講演についてお聞きます。

◆ 内容はいかがでしたか。

	1 よく理解できた		2 おおむね理解できた		3 あまり理解できなかった		無回答	
回答数	148	50.1%	117	39.7%	5	1.7%	25	8.5%

◆ 特別講演をお聞きした感想はいかがでしたか？

- ・ 子どもを育てるため、どういったように協力するか、ゴールに向かっていく道中のプロセスも含めて、イメージを共有していかなければいけないと知ることが出来た。少しずつ実践できるようになっていきたい。
- ・ 「つかさどる」ということが求められるようになり、キャリア形成もより複雑になっていく印象を受けた。自分がその力を身に付けていけるか…と考えると、少し不安な面がある。
- ・ 学校の中の一人の大人として、子供のことや教育のことを知る必要があると感じた。学校経営に関わっていけるよう、事務職員としての力量を高めていきたいと思った。
- ・ ミドル期にぜひ充実した内容の研修を受けたいと感じました。今当たり前にあるシステムができた・実現した経緯を知りたいと思いました。”一気に崩れる”のは怖いと感じました。
- ・ 「つかさどる」ことについて考えることができた。学校で子どもたちがいきいきと活動するために、チーム学校で協働して課題解決していくこと、それを調整していく働きをして行かなければいけないことを再認識することができた。それに向けてスキルアップを心がけていきたい。
- ・ 「つかさどる」についてイメージすることが難しく感じていましたが、少しイメージすることができました。経験年数はまだ浅いですが、日々の業務から力をつけて、学校運営に関わっていこうと思いました。
- ・ 社会に開かれた学校を運営していくために、育てたい子どもの姿を学校、家庭、地域と共有して、専門性を活かして、連携していくことが大切だと感じました。

Q2 : 参加された分科会・講座研修についてお聞きます。

◆ 参加された分科会・講座研修はどちらですか。また、内容はいかがでしたか。

	分科会 1		分科会2		分科会3		講座研修	
1 よく理解できた	75	52.4%	22	43.1%	28	59.6%	39	81.2%
2 おおむね理解できた	51	35.7%	24	47.1%	15	31.9%	9	18.8%
3 あまり理解できなかった	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	17	11.9%	3	5.9%	4	8.5%	0	0.0%
合計	143		51		47		48	

Q3 : 明日からどんなことに取り組んでみようと思いましたか。

- ・ まずは子どものために、そして教員の多忙化解消や校内の業務改善を日々意識して事務職員としての仕事を行っていききたいと思います。
- ・ グループ内の新採用支援時に気づかされることがあります。全体会の最後に加藤先生がアドバイスされた気づきを大切にすることを心がけて行きたいと思います。
- ・ 異動したばかりということを理由に主体的に学校運営に参画していなかったと感じるので、もっと積極的に関わっていきたいと感じました。すべての研修でたくさんの刺激や良い情報をもらうことができましたので活かしていきたいです。
- ・ 日頃の業務を正確に行っていくことを前提として、今後、学校事務職員という仕事に訪れる変化に対応していけるように、自分が今できることを考えていきたい。まずは身近に迫っている大きな変化である新学習指導要領について勉強していこうと思う。
- ・ 柏刈支部の校内全予算一覧表が参考になりました。取り入れたいと思います。南魚支部の世代交代に向けた（分科会1）対策的取組が素晴らしいと思いました。今後の共同実施活動の参考にしたいと思います。
- ・ 新発田・聖籠支部の学校事務委員会がとても良いと思いました。「委員会」と大きくいかないうちでも「会」という形で定期的にやってみたいです。（分科会1）

- ・分科会で他支部の話をきき、預り金の集金計画について自校で取り入れることができるものがあつたので参考（分科会1）にしたい。
- ・自分の気づきを溜め込まずにその都度管理職や運営委員会などで話題にしていこうと思いました。（分科会2）
- ・業務改善は、目的でなく、教育目標達成の手段だということを認識しました。グループワークで得たヒントを、自（分科会2）校の業務改善に役立ててみたいと感じました。
- ・「気づき」から改善したいこと提案したいことがあれば、企画委員会を利用して積極的に働きかけていきたいと思（分科会2）います。
- ・実践を聞けるのはありがたいです。自校の現状を把握し、自校にあつた取り組みをしていきたいと思（分科会3）います。1 つくらいはやって、達成感をえられたら、次の活力になるかも。
- ・なんのためにするのか。意味はあるのか。考えて仕事に取組みたいと思いました。前年度踏襲の怖さを改めて（分科会3）考えるきっかけとなりました。
- ・「気づき」を意識する、気づかぬふりをしない、気づいたら提案・相談してみる。（分科会3）
- ・他校の安全点検カードをみることで、自校の改善点を見つけることができました。気づきを施設担当職員に共有（講座研修）し、ぜひ点検カードの見直しも考えてみたいです。
- ・今まで点検表の項目などのことはあまり考えたことがなかったので、いろいろ考えられて良かったです。改めて（講座研修）点検表を考え直し、来年度から使ってみませんかと校長先生や教頭先生にお話してみたくまりました。
- ・日常で使用している安全カードも学校によってさまざまなことが分かりました。来年度の参考になって良かったで（講座研修）す。明日からの日番での点検もしっかり行っていきたいです。

Q4：研究大会全般についての感想や意見、次年度以降の全体会の講師等に希望があればご記入ください。

【研究大会について感想・意見】

- ・分科会では、屋台形式で多くの他支部の発表が聞けて良かったが、発表が聞こえないところもあり、屋台形式（分科会1）の発表の難しさを感じた。また、25分間×3回であり、もう1つの支部の発表が聞けず、残念だった。
- ・とても楽しいお話が聞けました。各支部のブース形式はとても面白かったです。（分科会1）
- ・分科会の支部発表は、支部の活性化、若手の育成につながる。せっかくのいい発表だったが屋台形式のため（分科会1）周りの支部の発表も聞こえてきて集中して聞くことができなくて残念でした。ただ屋台形式による3回の発表により役割分担や若手に発表のチャンスが増えてよかったと思う。
- ・全体会の発表がとてもよかった。声や話し方など時間をかけて練習したことが分かります。お疲れさまでした。（全体会）
- ・毎年、講話・講演がメインになるが、全体的にもう少し短くして欲しい。事務職員のあり方や現状の話より、もっと実践的な話がききたい。講演は1つくらいにして、他支部の状況を聞くのも良いと思う。
- ・会場が例年新潟市のため、上越や糸魚川支部だと遠く、その上開始時間が早く、終了時間が遅いため大変である。会場や日程を検討してほしい。
- ・大会の開催・運営ありがとうございました。日々の業務を見直す良い機会になりました。明日からも精力的に業務に取り組みたいです。

【全体会の講師等の希望】

- ・加藤先生のお話は大変聞きやすく、とても勉強になりました。今後はさらに具体的なお話をお聞きしてみたいと思いました。
- ・加藤先生の業務改善のお話を全体会でお聞きしたいです。
- ・講師の話にあつた、力量や成果が属人的であるという話がとても共感できました。どの世代がどのくらいの力量を持ち、成果を上げるべきか標準的職務通知や研究基本要領で示されているが、どのように力をつけていけるかがあいまいなところもあると思うのでそこをすべての事務職員で再認識できるような研修があると良いと思いました。
- ・学校事務について事務職員だけで考えると学校で難しいことが多いと感じます。できれば先生方にも変わっていく学校事務について知っていただくか考えていただけるとビジョンの実現がやりやすくなるのではないのでしょうか？

【県外参加者からの感想】

- ・若い事務職員が多く熱気に圧倒されました。共同実施の先進地としての学びが多く、参考にさせていただきたい（山形県）実践がたくさんありました。講座研修の中身も非常に興味がありました。（1～3年目の主事優先・・・ぜひ山形県で、もしくは地区でやってみたいです）機会があれば、また参加させてください。
- ・新潟支部さんのレベルの高さに、非常に刺激を受けました。群馬に戻って、情報を共有したいと思います。お世（群馬県）話になりました。
- ・「新潟は研究が熱い」と聞いて研究大会に参加させていただきました。研究大会運営、計画にどれだけ時間が（宮崎県）掛けられていたのかな～と思うくらいすごく感動し、勉強になりました。ありがとうございました。

* アンケート及び大会申込み時に寄せられた皆様の声を受け止めながら、次回大会、そして今後の研修に生かしていきたいと思（分科会1）います。大会への多くのご参加、アンケートのご協力に感謝申し上げます。